

令和 6 年 6 月 13 日  
15 : 00 ~ 16 : 25  
麻 溝 台 高 等 学 校

## 令和 6 年度神奈川県立麻溝台高等学校第 1 回学校運営協議会及び 第 1 回学校評価部会

参加者：学校運営協議会委員 8 名  
副校長、教頭、事務長、各グループ総括教諭

- 1 委員委嘱
- 2 自己紹介
- 3 校長あいさつ
- 4 学校経営に関する基本方針等について
  - (1) スクールポリシー・グランドデザイン
  - (2) 学校教育計画（令和 6 ~ 9 年度）
  - (3) 令和 5 年度学校評価
  - (4) 令和 6 年度学校目標
  - (5) 令和 6 年度不祥事ゼロプログラム・資料に基づき説明
- 5 学校・生徒の状況等について
  - (1) 令和 5 年度卒業生の進路状況
    - ・実績は資料のとおり。全体的に進学実績は上がっている。
  - (2) 学校行事・部活動状況
    - ・資料のとおり。本年度も山岳部女子、自転車競技同好会がインターハイ出場  
空手部男女、ウェイトリフティング同好会が関東大会に出場を決めた。
  - (3) 今年度の行事予定
    - ・資料のとおり。
  - (4) 生徒の状況と課題
    - ・資料のとおり。自転車通学の通学者が多く、交通安全マナーに取り組んでいる。
  - (5) 生徒の学習状況
    - ・今年度で新学習指導要領に基づく新教育課程がそろった。主体的・対話的で深い学び  
に基づく授業改善が進んでいる。
    - ・「1 人 1 台端末」として iPad を活用して、今年度で全学年購入している。ロイロノー  
トやデジ楽（採点システム）などの I C T 機器の活用も進んでいる。
  - (6) 入学者選抜
    - ・過去 3 年の入試倍率は資料のとおり。
- 6 情報交換、意見聴取
  - ・ インターンシップの内容は。

- 協議会主催の紹介事業所や県教育委員会の「仕事の学び場」等を利用している。就業体験と技術体験をすることで将来につながる。
- ・ ICTの個人差についてはどう考えるか、小学校は算数を中心に進めている。年数回授業改善の研修を行っている
  - 年2回生徒による授業評価を実施し、それを踏まえての授業改善を行っている。また、定期テストの共通化に向けて科目担当者ごと話し合いを重ねることや、ICT教材の活用などを進めている。採点には採点ソフトウェアの「デジらく」を活用し効率化をめざしている。
- ・ 相模原市立の小中学校では継続した学び、一貫教育をめざし「キャリアサポート」を作成している。高校でのキャリアパスポートの活用の方法はどのようなものか。
  - 現在本校では、中学校から引き継いだキャリアパスポートについては、「総合的な探究の時間」で作成しているファイルにまとめている。出身中学校によって指導が異なっているので、まだ十分に活用しきれていない。各学年の総合的な探究の時間でもそれぞれの成長段階ごとに自分のキャリア教育に対する取り組みを記入できている。
- ・ 協働的な学びで、わからない生徒がわかる生徒に聞く仕組みはどうやってできてきたのか。
  - 入学時から小中学校の取組みである一緒に考える学びに慣れてきていると感じる。ロイノート等のICT機器についても小中学校での経験や適応力の速さで対応するとともに、それを活用することにより周りの生徒との協働的な学びもできている。
- ・ 開校以来、同窓会活動は続いている。青春かながわ校歌祭への参加や昨年度は50周年記念事業の際には同好会と在校生での対談も行った。また、FMさがみで生徒が50周年記念式典や文化祭の生宣伝を行った。このような体験の助けを同窓会は行っていきたい。また、部活動の全国大会や関東大会の出場などについては横断幕を寄贈するので連絡してほしい。
- ・ 麻溝台高校の風土を気に入って自分の子どもを入学している保護者も多い。5月の学校行事を通して生徒の協力体制が整っていく。今後卒業生による進路講演会やホームページ等を充実させて情報発信してほしい。
  - ホームページについては更新マニュアルの共有化等を再度図ったところである。今度さらなる充実をさせている。

## 7 諸連絡

第2回の学校運営協議会の日程は未定。9月または10月の学校行事と重ねて開催予定。